かいうんみちびきまもり

開運導き守

初穂料

一、五〇〇円

これからなにかをはじめようとかんがえている人

人生の岐路（きろ）に立っている人

進路（しんろ）に迷いがある人

道開き・導きの神さまである猿田彦の神さまが、災難、厄を祓い除け、幸福へ導いていただけるように、願いを込めたお守りをおわかちいたします。

毎年四月十九日、新川神社の春まつりには神さまがおみこしに乗られて、新庄の町をまわられます。その道中、真っ赤な面に頭巾をかぶり、小走りにみこしの先を行く露払いの者を新庄では古くから「どべ」と、親しみを込めて呼びます。

「どべ」は新庄近辺の俗称で、本来は古事記・日本書紀にも語られる、古来から伊勢に住んでいた土着の神さまで、「猿田彦神（さるたひこのかみ）」ともうしあげます国津神であります。

古事記によると天孫降臨の時に猿田彦神は自ら進んで道案内をされた神さまですので、道や境界を守る神さま、方位の神さまとして知られると共に、その容姿が威圧的であることと、眼力がつよく、光り輝いて八百万の神でだれも立ち向かうことができなかったという霊験の強い神さまです。